

公表

事業所における自己評価結果(保育所等訪問支援)

事業所名		社会福祉法人なにわの里 きっずサポートなにわ		公表日		2026年 4月 23日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整備	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	<input type="radio"/>		本人にあったものを使用している。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。		<input type="radio"/>	児童発達支援や放課後等デイサービスを兼務しているスタッフであるため、希望があったとしてもすぐに実施することが難しいことがある。	事業運営上大幅な改善が見込めないため、現状の中で優先順位をつけながら、対応してまいります。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・毎月2回の会議の場を設け、スタッフ間で課題検討を行っている。		
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・毎年1回、アンケートを配布し、評価を求めている。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・毎月2回の会議の場を設け、スタッフ間で課題検討を行っている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者による外部評価は実施していない。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・毎月3回外部コンサルテーションを実施している。 ・外部への研修へは、療育などの実施を最優先にしているため、参加は限られている。 ・自己啓発による研修は年10万円まで補助し、積極的な研修を促している。		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		・行動観察を始め、適宜、検査（知能検査など）などを実施している。それらの結果から、必要と思われることを支援計画に反映している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		できる限り様々なスタッフがサービス担当者会議へ参加するようにしている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	<input type="radio"/>				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		行動観察を始め、適宜、検査（知能検査など）などを実施している。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		<input type="radio"/>	基本は訪問員が支援計画に沿って内容を決めている。	訪問員以外のスタッフも支援内容について共有し、様々な視点を取り入れながら支援をすすめていけるようにする。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		<input type="radio"/>	基本は訪問員が振り返りを行っている。		

	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		毎回、活動内容とともに、改善案なども含めて記録に残している。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		基準に沿って実施している。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		定期的な関わりを持っており、何かあれば連携が行えるような関係になっている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて実施している。	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		毎月3回外部コンサルテーションを実施している。 外部への研修は、療育などの実施を最優先にしているため、参加は限られている。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○		利用前に保護者へ近況を聞くことや、利用後に保護者へ必ず報告している。	
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		柏原市からの委託事業として、ペアトレとペアプロをそれぞれ年1回開催している。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		見学、契約時に説明している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		利用時に説明するようにしている。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		利用前後の保護者とのやり取りを行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	○		毎年1回、保護者交流会を開催している。 きょうだい同士で交流する機会は設けられていない。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		法人の広報誌などで、情報を発信している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報保護法に則った対応を徹底している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		個々に合った方法でやり取りを行っている。	

訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		訪問先施設から電話やメールなどで相談を受けている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		訪問先施設側と調整ができれば行っている。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報保護法に則った対応を徹底している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			周知は不十分なため、行っていく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		利用者を含めた訓練ができていない。	実態に合っていない項目もあるため、内容の精査を進める。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		朝礼などで、ヒヤリハットの共有や注意喚起などを行っている。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人全体で実施している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		○	法人全体で、身体拘束に関するルールの共有を行っている。なお、これまでに身体拘束を行った事例はない。	